

高たかふはムリ升れとも役者やくしやの義にムリ升れはごめん御ゆるしの

蒙かぶむり升てこれより口上の申あげ奉り升る当筈たうしはあ居

御ひみきとござり升て菊月狂言初日より永當とこく

かく賑にぎ々しく御見物被下置ごけんぶつ升る惣そう一座い如何

ばかりか難有仕合に存奉り来る○扱あわけ申し

升るは私身分の義にござり升るが去ル嘉永七

寅年より御当地へ御招まねきに預あづかり升てはしく

不調ふてうほう法なるわたくしをこれまで御ひみき

お取立下されましたる段しんこんにてつし

いか斗か難在仕合に奉存升る扱御当

地へ参りましてきのふけふの様にぞんし升

処かかぞへ見れはもはや八ヶ年に相成升る事

ゆへ是非ぜいひく一トたび登のぼり呉くれよと昨年中より

たびくの迎むかひにござり升れど只今も申通り是迄

長らく御江戸の御ひみきをうけ八ヶ年このかた

御当地に御なじみと相成升たる事なればもはや

私におゐては江戸ツ子に成りすました心持に

ムリ升て何分お江戸をはなれ升るがお名なこり

おしく大坂表へは度く断り申し置升たれども

未成年は先程をはじめ巖父仁左衛門年回ねんぐわいかた方

長くとはいわぬ程にちよいと成りとも登りくれよ

との手づめに付升て無■一トたび上坂しやうはん仕り升る扱に

ムリ升る○誠にこれまで未じゆくふ調法なる私共に

倅我當も段々とお取立に預こんはんらうかおもてり今般浪花表へ立

かへり仕り来るは大江戸御ひみきの御余光よかうをかうべにさゝけ

立かへり升る実にもつて故郷へにしきと心魂に徹し来て

如何斗か難有仕合に奉存来るなれども大江戸御ひのみき御取立の

御恩はゆく／＼忘れは仕り升ねば三ヶ年の彼の地を相勤升れば又々罷下り升て

おひのみきをうけたき私どもがねがひ何分今節は相替り升せず御ひのみきの程願ひあけ奉り升る

先は此度さし出し升る名こり狂言日数もわづかの義にムり升れば被合升て初日より永当／＼

御見物の御来駕被成下来るやう大江戸八百八町のすみからすみまでずいと願上奉り升る